

## 実施イベント

### 「さわれる漢字辞書」展示

点字や音声読み上げでは伝えきれない、漢字文化に触れて知る装置を開発しました。目が見えない書道家がいてもよい。漢字が持つ美しさ、ニュアンス、言葉の成り立ちを視覚障害者も共有したい。中途失明した私の気持ちだけで作った「さわれる漢字辞書」を展示会で、目が見える方、見えない方にご紹介します。

(第17回視覚障害者向け総合イベント「サイトワールド2025」展示ブース すみだ産業会館・サンライズホール 2025/10/16-18)

### 「プラスチックの減量とリサイクルの実験」

私たちの生活では多くのプラスチックが使われています。食品トレー、ペットボトル、タッパー、ラップ…。どれも便利なものばかりですが、プラスチックは、地球が長年かけて貯めてきた石油を大量に消費して作られ、またいったん廃棄されるとマイクロプラスチックとなって海を汚し、燃やすと地球温暖化ガスを出します。私たちはどうすればよいのでしょうか。この実験では、プラスチックを形作る高分子を学び、その化学的性質を使った減量とリサイクルの過程を、食品トレーを使って再現します。

(視覚障害のある子供たちの化学実験イベント 「科学ヘジャンプ・サマーキャンプ2025」物質・材料研究機構 2025/7/20)

### 「中途失明者の 指で読む点字の話：点字を書く人、伝える人へのメッセージ」

自動読み上げでは得られない、点字の一番大切なことは何でしょうか？ 点字で何を、どうやって、誰に伝えるか。中途失明した科学者が、点字を触読することで気づいたことをお話しします。点字をボランティアで書かれる方、公的サービスとして点字を提供される方、点字を読む方、それぞれが大切にしていることを共有して、繋がる方法を考えてみましょう。

(土浦市「ひまわりの会」、土浦市役所共同イベント 2025/5/23)

### 「障害者と共生するために必要な四つのこと」

障害者への対応が得意な方は、市役所でも多くないと思います。どう接してよいかわからない、何に困っているのかわからない…。

この研修では、視覚障害のある研究者が、科学の視点で障害者への接し方をお話しします。科学はちょっと、という方も、大丈夫です。実例から気づく、ごく普通の四つのことを覚えるだけです。みんなが共に生きてゆくための鍵を、いろいろなエピソードを聞いて、一緒に探してみましょう。

(土浦市役所 障害者差別解消法研修 2025/1/24)

「中途失明した科学者はどのように点字を読んでいるか」

50 歳を過ぎて点字を覚える、いわば大人が日本語を一から学びなおす体験から、気づいたこととお話しします。万葉の時代、ひらがなができ、漢字・かな交じりの日本文学の原型ができあがりました。先人が文字を創り出した歴史と、大人が点字を覚える過程の共通点から、日本の古典文学が何を目指したかを考えます。また、その後、現代まで続く文字文化を、点字を通して読み解き、点字で行間を読むおもしろさ、点字読書の醍醐味をご紹介します。

(高知県 声と点字の図書館 2025/1/8)

「ダイバーシティ時代の科学」

「ダイバーシティ」ってよく聞くけれど…。目が見えない人が住む「光速 0」の世界に、みなさんをご招待します。光より音が早くなったら、どんな世界になるの？ 点字で人工知能のココロが分かる？ 障害者って、普通の生き物？ 目が見えないことを「科学」することで、普通じゃない数学・物理・化学・生物学に触れてみましょう。障害を乗り越えることは、普通の周りの壁を取り払うこと。非常識から始まる「ダイバーシティ時代の科学」。あなたの世界がきっと広がります。

(「高知みらい科学館 サイエンスカフェ」 2025/1/7)

「実験で知ろう QR コードって何？」

視覚障害がある子供たちが、実験を通して、科学を体験します。ここでは QR コードのまわりの、物理と数学を学びます。

目標 (ねらい)

- ① QR コードの触察から「デジタル」のイメージをつかむこと
- ② デジタル信号の読み取りで使われる「レーザーの能力」を特殊なスピーカーで知ること
- ③ QR コードの位置を決める「ルール」を知ること
- ④ QR コードがどのような汚れに強いのか、弱いことから、「デジタル」の工夫を知ること
- ⑤ エクセルを使った、簡単な「デジタル化」「アナログ化」の実験的確認から、正確に情報を伝える最新の技術を知ること

(「科学ヘジャンプイン東京 2024」 筑波大学附属視覚特別支援学校 2024/12/1)

「身近なナゾの記号 点字に触って解読してみよう」

身の回りの点字に触れて、目が見えない人の生活を体験してみましょう。そして簡単な暗号の解き方を使って、点字の仕組みや、ちょっと不思議なルールを発見します。

第一部：「身近な点字に触ってみよう」 指で読む文字「点字」。近くにある点字に触れて、目が見えない人の文字を使った生活を体験してみましょう。

第二部：「チャレンジ！点字の解読」 点字は、ナポレオン軍が暗いところで文字を読むための「暗号」から始まりました。日本語の点字を解読することで、点字の仕組みや、ちょっ

と不思議なルールを発見します。

(阿見町立図書館 2024/11/30)

夏休み子ども講座「点字で回文 点字で漢字」

目が見えない科学者と、指で読む文字「点字」にチャレンジ！ おもしろい形の点字や、点字で書く漢字のしくみを、じっさいに指で触れながら学びましょう。

右から読んでも、左から読んでも同じになる点字の回文、上下をひっくり返しても同じになる点字の回文。触読のおもしろさをお話します。

特殊なめがねを使って弱視を模擬体験も実施。

(土浦市立図書館 2024/8/8)

「いろいろな点字に触ってみよう！」

点字絵本、漢点字、点字楽譜。目が見えない研究者が指先で見る広い世界をご紹介します。お子さんから一般の方まで、どなたでもわかる文字と記号の再発見の旅にご招待します。少し違った文化と芸術を体験してみましょう。(つくば市立中央図書館 2024/8/1)

「web アクセシビリティ国際基準から考える障害者への接し方 ダイバーシティとは？」

現在 web は、動画、投稿、各種の手続きなどがすべてでき、社会生活の縮図になっているといえます。web の規格を検討する国際組織である W3C(The World Wide Web Consortium (W3C, <https://www.w3.org/>) は、こうした web を、障害者を含むすべての人に利用できるためのガイドライン WCAG(Web Content Accessibility Guidelines,

<https://waic.jp/translations/WCAG20/Overview.html>) を公表しています。この講演では、WCAG の中に定められている、社会と障害者の良好な接点づくりを読み解いて、障害者がどのようなことに障壁を感じ、どのようにすれば乗り越えられるかを共有するとともに、ダイバーシティの課題や求められていることを考えます。(物質・材料研究機構 ダイバーシティ推進セミナー 2023/11/14)

「点字ってなに？ 視覚障害がある科学者が話す とても身近な光のない世界のはなし」

前半：「点字と百人一首のふしぎな関係」 百人一首かるた。ふだを早く取るにはどうすればよいでしょうか？ 点字を早く読む方法と、かるたの必勝法の共通点を探ります。

後半：「点字絵本にふれてみよう」 くらしの中の点字、ふしぎな形の点字、立体いんさつで作った絵や絵本に触れてみましょう (つくば市「つくば STEAM コンパス」イーアスつくばのアカデミア書店にて実施 2023/10/28)

「光速 0」の世界 ―視覚障害者の科学―

光の速さがどんどん遅くなって、最後に 0 になった世界。音だけの世界から考えた、光と

音、見ることと聞くことの科学をわかりやすく解説します。科学者は、小さな原子や遠い宇宙など、目に見えないものを知るために多くのことをしてきました。科学の底にある、視覚を越えた深い探求を考えます。東京工業大学 伊藤亜紗先生との共作。

(動画 [https://asaito.com/project/2023/05/post\\_36.php](https://asaito.com/project/2023/05/post_36.php) DVD 版あり 2023/5)